



Broaden your horizons 86 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

2020年、東京オリンピック開催が決まりましたね! 遠足は行く前が一番楽しいといいますが、その楽しみが7年も続きます。ワクワクしますね。

日本はこれからオリンピックに向けていろいろと変化を遂げていくことでしょう。薬剤師にとって、どんな変化が予想されるのでしょうか? 「スポーツファーマシスト」という職種がもっとスポットライトを浴びるはずです。皆さんはスポーツファーマシストの資格をお持ちでしょうか? メディセレでは私をはじめ、ほとんどのスタッフが取得しています。「次世代の薬剤師を創る会」でも、スポーツファーマシストの勉強会を開催しました。まだお持ちでない方は、ぜひ取得をご検討ください。アスリートがうっかりドーピングをしないよう指導したり、ドーピング検査をしたりと、資格を使う機会が増えること請け合いです。

それに、海外との交流にも目を向けないと……。先日、5カ国の青年経済人を茶道でもてなしたのですが、アメリカ人に「オチャノタテカタヲオシエテクレマセンカ」と言われ……。もちろん、英語がペラペラ……。ではない私はボディラングージに徹しました。ぐるぐる回したがるアメリカ人に、「No ~! Updown only!」と手真似をし、そのうち「Quick quick quick! Make a bubble!」——中学生レベルの英単語を乱れ撃てば当たる、いえ、通じるものです。大喜びで上下にシャカシャカシャカとお抹茶を点てはじめ、泡が立つと、「Oh ~!」と感動してくれました(笑)。お茶会が終わると、私の和服に興味を抱いたガーナ人が、たぶん「その民族衣装は一体どうなっているの?」と聞いてきたと思います(はい、思いますレベルです)。ん〜ん、説明できない……。今度は一切言葉を使わないで、手の平で大きな四角を作り、私の身体にまとわせ、紐を腰に巻くジェスチャーを試みました。その後、紐を引っ張る真似をして、ぐるっと回り、「キャ!」と布が落ちたポーズをすると、「hee-haw!」(大爆笑)、横にいたメキシコ人もフィリピン人も「Good! Greate! ARIGATOU!」と大喜びで、何とか伝わったみたいです。

そうです、英語を話せなくても、国際交流できるのです。必要なのは「伝えたい思い」ではないでしょうか。とはいいいながら、あまりにもお粗末すぎる英語力に、少しは勉強しようと思いました。皆さんも、ぜひ一緒に!

Medisere (メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子